

岩手県在宅保健活動者連絡協議会

会報 ひまわり

第28号

会長あいさつ

岩手県在宅保健活動者連絡協議会
会長 阿部 恵美子



会員の皆様、関係者の皆様お元気ですか？

例年ですと若葉の美しい季節の5月に第19回岩手県在宅保健活動者連絡協議会総会を開催しておりましたが、国内外で発症した新型コロナウイルス感染症の対策のため、昨年に続き今年度も総会は書面審査、研修会及び役員会は中止としましたことから、会報「ひまわり」の紙面をお借りし一言ご挨拶申し上げます。

会員の皆様、私共のご指導をいただいております関係者の皆様、事務局を担っていただいております国保連の担当者様におかれましては、新たな気持ちで新年度をお迎えのことと存じます。日頃より本会事業にご支援ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、私たちは、この10年の間に2つの未曾有の危機に遭遇し対峙してまいりました。

一つは10年前の3.11東日本大震災、いまだに復興途上にあります。もう一つは昨年度から世界が、日本が、社会を上げて

取組み、今もって収束の見えない新型コロナウイルス感染症であります。この二つの未曾有の危機は私たちに何を問いかけているのでしょうか？私は「衛生」の言葉の意味をかみしめています。衛生とは“生を衛る”ことで「生命・生活・生産・教育」を守る（衛る）こととか。この語源は明治6年から23年まで務めた長与専斎初代衛生局長が Hygiene の訳語として初めて採用し奥州市にゆかりのある後藤新平2代目衛生局長とで定着させたとか。もう一点ですが、今ではリスクマネジメントの考え方の基本にもなっているハインリッヒの法則です。この法則は、アメリカの損害保険会社の安全技師ハインリッヒが労働災害における経験則の一つとして、1個の重大事故の陰には29個の軽微な事故がありその背景には300個の異常（ヒヤリ・ハット）が存在するという考えを基に、事故への予防と発災時やその後の対応を具体で示しているものです。

新型コロナウイルス感染症との対峙は2年目を迎えておりますが収束しておりません。ワクチンによる予防接種が進み始めた今でも最も有効な予防策は「三密（密集・密接・密閉）を避ける」。具体では手洗

い・咳エチケット（マスクの着用）・換気の実践であります。このため、総会・研修会は昨年につき対面での開催を見合わせておりますが、開催が可能となった場合や地域などでの活動が開始された場合を踏まえ私どもの活動についてふれさせていただきます。

私たちは、豊かな経験を生かし地域の方々と一緒にボランティアとして①心と体の健康づくり②高齢者の健康づくり③介護予防について、事務局の全面的な支援を受けて平成16年2月、岩手県内に住む一度は保健所や市町村職員を退いた在宅の看護職（保健師・助産師・看護師）・栄養職（管理栄養士・栄養士）・口腔衛生のスペシャリスト（歯科衛生士）等85名（内、新入会員10名）が知恵を出し合い取り組んでおります。

本会は、会員にとってのメリットとして①新しい知識・技術や情報を習得するための活動の場②仲間と出会い会員同士の交流を深める場③活動を通じて生涯現役の喜びと楽しみを実感できる3点であります。また、地域貢献として①国保連合会が実施する保健事業に協力②国保の保健事業と市町村が実施する保健事業への協力③岩手県が実施する介護予防に協力④地域の健康・福祉活動やふれあいサロンへの支援など4項目を掲げております。

これまでの活動につきまして、礎を築られました先輩方と事務局の地道な努力に、改めて、感謝を申し上げます。

人生80年から100年時代に入りました。また、国では2040年に向けた全世代型社会保障制度は健康寿命延伸を目的とする施策をこのコロナ禍にあっても次から次へと打ち出しており、その一つが国保の保健事業・後期高齢者保健事業・介護保険事業を一体的に進める、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施です。

国保連が実施する保健事業の一つ「国保・後期高齢者ヘルスサポート事業」を私たち世代のための事業ととらえ多いに期待したいと思います。

最後に、皆様といつ再会できるかわかりませんが、令和2年2月6日国保中央会主催の都道府県在宅保健師等全国連絡会で原理事長からいただいた挨拶の一文「自分でやれる範囲で楽しく継続的な活動」を忘れずに会員、関係者のご指導をいただきながら、一人ひとりの繋がりを大切にしながら進めて参りたいと思います。コロナ禍の収束はまだまだ読めず、何かと不便が多い日が続いております。この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が取り戻せるよう心から願うとともに、皆様の益々の健康と本協議会の更なる発展をお祈り申し上げます。



事務局あいさつ

岩手県国民健康保険団体連合会

総務事業部長兼保健介護課長

鈴木 敬之



本協議会の会員の皆様方には、これまでの経験や専門性を活かして保健活動を実践していただくとともに、日頃から研鑽をつまね、地域住民の健康の維持・増進に御尽力をいただいておりますことに深く敬意を表します。

また、本会の保健事業の推進につきましても、御理解、御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本協議会の総会については、例年であれば参集形式で開催しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の防止と会員の皆様の健康の確保を図るため、昨年度に引き続き書面で開催することとしました。

また、研修会については、本年2月に国保中央会が開催した「令和2年度都道府県在宅保健師等会全国連絡会」の資料を希望者へ送付するという形で対応させていただきました。送付資料は、保健事業を取り巻く国の動きや、全国の在宅保健師等会の取組の事例集などとなっておりますので、皆様方の今後の活動の参考にしていただければ幸いに存じます。

さて、令和2年に世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、今年に入っても依然として全国的に感染拡大しており、東京や大阪では再度緊急事態宣言が発令されましたが、本県においても連日、感染者が発生しており、予断を許さない状況が続いているところでございます。

国においては、令和3年度における予防・健康づくり、重症化予防の方針を示し、まず新型コロナウイルス感染症を踏まえ、「新たな日常」に対応した予防・健康づく

りを進めていくとし、ウイルスが引き起こす直接的な症状のみならず、外出自粛等による身体活動の低下や社会とのつながりの減少により起こる心と身体の機能低下が懸念されていることから、地域全体での健康の保持、リスク改善、感染症対策の向上を意識して事業を進めていくとしております。

また、健康無関心層の予防・健康づくりに取り組むとし、都道府県には、栄養面や運動面の専門的な人材の確保や人材の研修を行うよう求めています。

そのような中、本協議会がそれぞれの地区で自主的に活動を行っておりますが、その中でも「介護予防サロン活動」などは、身体機能の向上や社会とのつながりの両面で期待でき、地域で暮らす住民の健康づくりに大変重要な役割を担っていると考えております。

それぞれの地区において奮闘されていることに対し、改めて敬意を表します。

また、市町村が感染症対策等で多忙を極めマンパワーが不足する中で、本協議会の特徴である多職種を生かした幅広い人材と経験豊富な支援は、今後においてもますます期待されているところです。

事務局といたしましても、協議会の運営を担うとともに、引き続き活動のお役に立てるような情報提供をさせていただきたいと考えております。

今年度についても、新型コロナウイルス感染の影響により、本協議会の事業運営も通常どおりできない状況になっておりますが、新型コロナウイルス感染症の対策を優先的に続けていく必要があるものと考えていますので、皆様には、今後とも、豊富な知識と経験のもと一層のご尽力を賜りますようお願い添えをお願いします。

令和3年度 総会

令和3年度総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止と出席者の安全確保を図るため書面開催とし、すべての事項について承認いただきましたので、報告いたします。

書面議決結果

(会員 80 名中、63 名返送)

※会員数は 4/30 時点

報告事項

報告第 1 号：承認 63 名 不承認 0 名

議決事項

議案第 1 号：承認 63 名 不承認 0 名

◆報告事項

報告第 1 号

「令和 2 年度岩手県在宅保健活動者
連絡協議会事業報告について」

<国保連合会保健事業への協力>

- ・岩手県国保連保健事業推進会議(書面開催)
(R2.5.28)

<岩手県事業への協力>

- ・地域づくりアドバイザーの派遣と協力
(4月～3月)
- ・岩手県介護予防市町村支援委員会 (R2.8.3)
- ・地域づくりによる介護予防推進支援事業に係るアドバイザーの推薦 (R3.3.31)

<その他、協議会に係る保健・福祉活動等>

- ・新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所支援のための人材確保における支援協力
(R2.10.16)
- ・「岩手県在宅保健活動者連絡協議会
会員募集案内」送付 (R2.12.9)

<地区ブロック活動>

○盛岡地区

- ・土淵地区ケア会議 (8回)
- ・青山地区「マスクづくり講習会」(R2.7.2)

- ・日詰第 9 公民館健康相談
(健康相談、血圧測定、講話) (R2.9.15)
- ・講演会「新型コロナウイルスを知って
コロナ禍を乗り越えよう」講師 (R2.10.21)
- ・介護予防教室 (4回)
(いきいき百歳体操講話と実技、講演会)
- ・東日本大震災被災地支援活動 (8日間)
- ・元気アップ通信の発行 (8回)
(健康情報、生き生き百歳体操、健康日誌)
- ・地区会員同士の連絡

○花巻地区

- ・ニコニコサロン (12月まで月1回)
- ・通いの場 (月4回)
(元気でまっせ体操会、健康相談会、
似顔絵かき等)
- ・青空の会、通いの場 (月3回)
- ・サロン白寿会 (月1回)
- ・通いの場 (月4回)
(元気でまっせ体操、健康相談会)
- ・通いの場 (月2～3回)
(元気でまっせ体操・成年後見制度について)
- ・歯科衛生士によるフッ素塗布
(1歳6ヶ月児、3歳児)
- ・介護予防事業「歯つらつ健口教室」(4回)
- ・西和賀町自立支援ケア会議 (5回)
- ・情報交換会及び定例会 (2回)

○久慈地区

- ・午前:まちの保健室、午後:オレンジカフェ
(7回) (健康相談、押し花、認知症相談 等)
- ・保育園出前保健室 (8回)
(健康相談、行事参加 等)
- ・出前カフェ (8月)
(認知症講話、押し花作り 等)
- ・出前カフェ (10月)
(認知症講話、押し花作り 等)
- ・久慈市老人クラブ連合会体力測定 (1回)
(血圧測定、救護)

○二戸地区

- ・まちの相談室（月2回）
（健康相談、血圧測定）

○沿岸地区

- ・学童野球大会（2日間）（救護）
- ・釜石市特定健診支援（問診業務）

○県南地区

サロン（25回）

（認知症予防、コロナ予防）

- ・百歳体操（96回）（認知症予防）
- ・サロン（1回）（口腔歯科・コロナ予防）
- ・ホームヨーガ（88回）
（ヨーガで健康づくり）
- ・後輩育成（勉強会・研修会）（6回）
- ・情報交換会（5回）
- ・県南ひまわり会通信の発行（6回）

◆議決事項

議案第1号

「令和3年度岩手県在宅保健活動者
連絡協議会事業計画について」

令和3年度事業計画

I 基本方針

市町村における保健・福祉活動の重要性を認識し、住民の健康づくりを支援するため、豊富な知識と経験を活かし、地域の保健・福祉活動に寄与するとともに、会員の資質向上と親睦を図るため下記の事項を推進する。

II 目標

1. 高齢者の健康づくりについて、介護予防の面から支援する。
2. 地域の食育活動をとおり、若い世代からのメタボリックシンドローム対策につなげる。
3. 保健推進委員や食生活改善推進員等の住民組織活動を協力・支援し、地域保健活動のさらなる活性化につなげる。

III 具体的実施事項

1. 総会・研修会等の開催
 - ・全体研修会の開催 年1回（5月）
 - ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため総会は書面開催、全体研修会は資料の送付をもって開催
2. 役員会等の開催
 - ・役員会 年2回（11月、3月）
3. 国保連合会保健事業への協力
 - ・岩手県脳卒中予防県民大会への協力
4. 市町村及び社会福祉協議会等の保健事業への協力
5. 岩手県事業への協力
 - ・地域づくりによる介護予防推進支援事業に係るアドバイザーの推薦及び事業の協力
6. 会報「ひまわり」の発行
 - ・年1回の発行（7月）
7. 会議・研修等への参加
 - ・東北地方在宅保健師等会連絡会議
 - ・都道府県在宅保健師等会連絡会
8. 会員相互の情報交換
 - ・地区ブロック単位の電話連絡網の活用
 - ・新会員加入促進に向けた取り組み
9. その他、協議会が係わる保健、福祉活動等

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、具体的実施事項の事業内容が変更する場合があります。



令和3年度国保連合会事業への 協力及び地区活動予定



◆国保連合会保健事業への協力

- ・岩手県脳卒中予防県民大会への参画

◆地区ブロック活動

現時点での各地区の活動計画は次のとおりです。

＜盛岡地区＞ 会員 24 名

- ・介護予防教室支援（3地区×3回）
（青山和敬荘地域包括支援センター主催）
- ・管内市町村からの依頼への対応
（健康管理・救護等）
- ・情報交換会

＜花巻地区＞ 会員 11 名

- ・高木小路公民館元気出まっせ体操等
（月2～3回）
- ・江曾自治公民館元気出まっせ体操等
（月3回）
- ・好地会館元気出まっせ体操等（月4回）
- ・歯科衛生士によるフッ素塗布（乳幼児）
- ・太田公民館ニコニコサロン（月1回）
- ・太田公民館元気出まっせ体操、
健康相談等（月4回）

＜二戸地区＞ 会員 8 名

- ・「まちの相談室」（健康相談）
（4月から月2回）
 - ・打ち合わせ会・新年会（1月）
- ※「まちの相談室」は新型コロナウイルス感染症対策のために5月より休止。再開後から対応することとしている。

＜沿岸地区＞ 会員 20 名

- ・釜石市イベント参加者の救護活動
- ・釜石市特定健診受診者の問診
- ・釜石市新型コロナワクチン集団接種
（問診、状態観察等）

＜久慈地区＞ 会員 6 名

- ・定期オレンジカフェ・こはくのまちの保健室（毎月1回 8日又は18日）
- ・出前オレンジカフェ・こはくのまちの保健室（6か所予定：日時未定）※新型コロナ発生時は中止
- ・久慈市福祉祭り支援（10月予定）
- ・ほのぼの給食会（保育園等3施設 回数未定）
- ・救護係依頼時スタッフ派遣
- ・講演会「認知症初期チームの活動について」

＜県南地区＞ 会員 16 名

- ・後藤新平記念館見学&お花見
（4月24日）
- ・布草履作り（6月26日）
- ・RFLの準備（和紙の葉作成）
（8月28日）
- ・後輩との交流会（10月30日）
- ・調理実習とクリスマス会（12月25日）
- ・今年度反省&次年度計画（2月27日）

令和2年度都道府県在宅 保健師等会全国連絡会報告

標記連絡会は、例年集合形式で開催していましたが、令和2年度は、資料及び資料の解説を録画したDVDの配布という形式での開催となりました。内容は以下のとおりです。

◆説明事項

「保健事業を取り巻く国の動き」
国民健康保険中央会
常務理事 中野 透 氏

◆講 演

「高齢者の保健事業と介護予防の
一体的実施について」
厚生労働省保険局高齢者医療課
主査 橋本 亜紀子 氏

「松戸市における高齢者の保健事業と
介護予防の一体的実施について」
千葉県松戸市
高齢者支援課
地域包括ケア推進担当室
主任保健師 小島 麻奈 氏

「蒲郡市における高齢者の保健事業と
介護予防の一体的実施事業について」
愛知県蒲郡市
市民福祉部健康推進課
課長補佐（管理栄養士）
千賀 典子 氏

「健康危機管理対応について」
厚生労働省健康局健康課
保健指導室長 加藤 典子 氏

◆事例発表

「岡山県災害時公衆衛生活動に
関する協定までの経緯と支援
-おかやま在宅保健師等の会
「ももの会」の活動を通して-」
岡山県国民健康保険団体連合会
保健事業課
保健推進班主査（保健師）
早川 さつき 氏

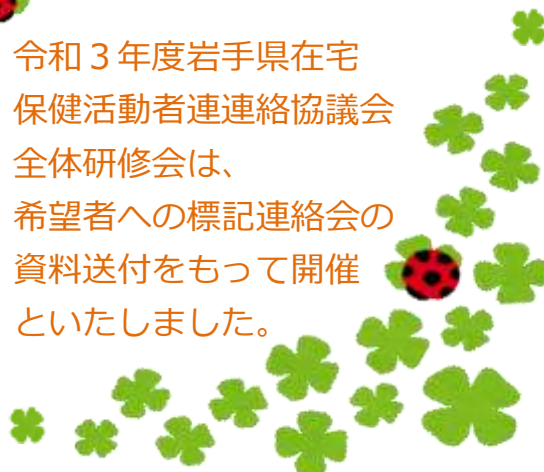
「新型コロナウイルス感染症
対応について」
鳥取県在宅等保健師の会
「梨花の会」
会長 美船 智代 氏

◆報 告

「在宅保健師等会にかかる
災害支援等の状況について」
国民健康保険中央会
保健事業専門幹
三好 ゆかり 氏



令和3年度岩手県在宅
保健活動者連連絡協議会
全体研修会は、
希望者への標記連絡会の
資料送付をもって開催
といたしました。



会員の声

新型コロナが4月以降に急増『県内感染千人超える』岩手日報の記事をみて家族や地区の人達の不安また医療現場行政等関係機関の対応等おたがい健康に気を付けて！と心より祈念いたしております。(二戸地区)



いつもありがとうございます。桜散る季節、コロナ禍の中、感染予防に留意し、奥州市水沢の後藤新平記念館に会員で訪れました。明治時代に世界から賞賛された帰還兵の検疫事業や東京市長としての大事業を実施しています。渋沢栄一に並ぶ郷土の偉人に敬意を表します。(県南地区)

戸主となりました私は今、託された(畑)画板の様な黒土を眺めながら、何処に何を…と構図を練っている所です。雑草という侵略者に妨害されない今が一番夢のある楽しい時です。…そんな事もあり退会と致しました。お世話になりました。(盛岡地区)



行政からの依頼によりボランティアで週2~3回シルバーリハビリ体操を実施しております。指導しながら自分も元気をいただいております。(盛岡地区)



5月20日に市議員が、通いの場元気でまっせ体操・口腔体操サロンなど、高木地区の福祉・介護予防について見学に来る予定になっています。また、自己責任においての参加と同意書とっているのですが、会員の保険加入について話し合っているところです。(花巻地区)

県南ひまわり会は交流をメインに昨年は1回のみ開催でコロナに負けず(もちろん対策はきちんとして)5回開催し、会員が講師をつとめ、裁縫・料理・勉強会を実施しました。又、都合が悪く参加出来なかった方が、その時の状況を知る目的もかねて、通信を発行しております。参加するためのモットーは“常に楽しくちょっと勉強を”です。今年は、後輩から学ぼうという事で交流会も予定しております。今後も参加して良かったという会にできるよう皆さんと一緒に活動していきます。(県南地区)



事務局からのお知らせ

岩手県国民健康保険フォーラムの開催中止について

例年8月に開催している標記フォーラムは、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び出席者の安全確保を図るため、本年度は開催中止となりました。

新会員募集中！ ～地域で一緒に活動してみませんか？～

専門職としての豊かな経験を生かし、地域の健康づくりに取り組んでいます。
保健事業支援に必要な研修や情報提供を行いながら楽しい活動を目指しています。

<入会の要件>

県内に住む在宅の保健師・看護師・栄養士・歯科衛生士・助産師
(臨時・嘱託で勤務されている方も入会できます)

※加入希望者には、事務局から会員申込用紙を送付いたします。



会員登録状況 (令和3年6月15日現在)

会員 85名 (新規加入10名)

国保イメージキャラクター
「ハピルスくん」

| 地区 | 職種 | | | | | 計 |
|------|-----|--------------|---------------|-------|-----|-----|
| | 保健師 | 看護師・ 准看護師 | 管理栄養士 ・栄養士 | 歯科衛生士 | 助産師 | |
| 盛岡地区 | 9名 | 7名 | 4名 | 4名 | — | 24名 |
| 花巻地区 | 5名 | — | 4名 | 2名 | — | 11名 |
| 久慈地区 | — | 4名 | 2名 | — | — | 6名 |
| 二戸地区 | 8名 | — | — | — | — | 8名 |
| 沿岸地区 | 7名 | 13名 | — | — | — | 20名 |
| 県南地区 | 6名 | 5名 | 1名 | 3名 | 1名 | 16名 |





ひまわり

担当 岩手県国民健康保険団体連合会 総務事業部 保健介護課 保健係

住所 岩手県盛岡市大沢川原3丁目7番30号

TEL 019-623-4324

FAX 019-622-1668